



現在の福山六方学園

創樹

題字は 田中蘆雪さん

発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

六十周年を迎える創樹会の職員として思うこと

私は、社会福祉法人創樹会に入職して十三年目になります。これまでにも法人の歴史について、書物を読んだり、法人の先輩方や他法人の方から話を聞いていましたが、六十周年を機会に改めて書き物を読み返してみました。

現在の創樹会は、数多くの事業所から成り立っています。私が所属しているのは福山六方学園（福祉型障害児入所施設）という事もあってなのが一番印象に残ったのが、「家庭舎」という言葉でした。「家庭舎」（小舎制）は、小規模グループケアといえば馴染みのある方も多いのではないかと思います。

この家庭舎について少しご紹介させて頂きま

す。
昭和三十四年十月一日、故田中了諦園長のもと、児童施設「福山六方学園」として創設されました。当時、ほとんどの施設が五、六十人規模の大舎制形態でしたが、家庭的な雰囲気により近づけるために福山六方学園は、小舎制方式を導入しました。職員が少ない中での家庭舎は、夜、昼なく、教師代わり、親代わりといった二十四時間住込み勤務という実態で、仕事から離れるいとまもなかつたようです。しかし「子どもたちとの情愛の繋がりは親身にまさる濃くて深いものがかもしだされた。」とあり、「集団養護の全てにいえることではあるが、特に小舎制方式において、いつも科学的で慎重な配慮を要することから処遇者たちは生活行動や情緒に強く支配されていることを思うと、おそろしささえ感する。ちえ遅れの子供たちは環境に素直であり忠実であるだけに、グループの設定にひときわ神経をとがらせる必要があつたことを痛感している」とまとめています。

小舎制の好ましい点として、安定した憩いの人間関係環境がかもしだされました。情緒の安定がつくり易い。

- ・異質的な差をもつて構成されたメンバーがぐりひろげる生活の場であるため、かえつて全体の中での個別化がしやすい。
- ・舎の日々の生活をつくることに全メンバーが参与するが、それぞれのもつ機能に応ずる役割活動ができるよう分担場面が多様豊富にある。
- ・一般家庭にある諸々の器機や道具を日常生活の中で自然な姿で使用利用できる利点があり、具体的な指導の実践がしやすい。
- ・小集団のため、移動に弾力性が高い。園外活動など余暇の環境転換が円滑かつ活発にできやすく、地域交流や文化的な社会資源の利用がし易い。
- ・処遇者が小集団の子供たちの中に密着していることは、自分を知らせることが困難な子供たちのかすかな微候を把握し易く、早期に必要な対処がとり易い。
- ・少人数の家庭舎には保護者がわだかまりがなく、舎内の子供たちや処遇職員との交流が円滑にでき易い。
- ・現までの福山六方学園も小規模ケアユニットを導入しており、「あおば舎」「えがお舎」「わかば舎」の三舎、五～七名のユニットで構成しています。グループ設定は、年齢や性別、利用者同士の相性などからトラブルの少ないグループ分けをしています。これはトラブルを避けることで、安全な環境を利用者に提供するという思いからの設定ですが、ある意味トラブルを起させない為の職員都合の設定になつているのかも知れません。
- ・今一度、「家庭舎」という原点に返り、より家庭的な環境とは何かを見つめ直し、利用者最優先の支援、環境づくりを行っていきたいと思いま

創樹祭

四月二十九日（月・祝）に創樹祭を開催しました。創樹会を利用する方が楽しむお祭りに地域の方を招待することを目的に、福山六方学園、あゆみ苑成人寮敷地内を会場に、模擬店や舞台発表、作品展示等を行いました。

模擬店では、創樹会の事業所、地域の事業所がたこ焼き、チキンナゲット、フランクフルト、お好み焼き、ソフトクリーム等を出店しました。法人とつながりのある、カレー屋さんやお餅屋さん、西自治会にも出店していただき、バラエティ豊かに、とても賑やかになりました。利用者の皆さんには「どれを食べようか」と迷いながら、おいしそうに食べておられました。

舞台発表では、学校やこども園のダンスや演奏があり、また、プロの歌手の方にもお越しいただき、大いに盛り上りました。学校やこども園の生徒やお子さんは日頃の練習の成果を発揮され、素敵な演技・演奏となりました。また、日頃聞く機会の少ないプロの歌手の歌声に皆さん聞き入っていました。

作品展示では、利用者が創作した作品と合わせて、創樹会の歴史の写真が展示されました。

また、今年、六十周年を迎えたことを記念して、スタンプラリーを行ないました。会場内のスタンプを集めると、綿菓子をプレゼントというもので、多くの方にチャレンジしていただきました。

順調に進んでいた創樹祭でしたが、天気予報通り、午後から雨が降り、その中でも最後のビンゴ大会まで多くの方が残って楽しんでくださいました。雨が降る肌寒い中でしたが最後までありがとうございました。

最後になりましたが、創樹祭を開催するにあたり、地域の方、家族会の方、ボランティアの方、各団体の方、ご協力いただきありがとうございました。これからも創樹会の歴史ある行事として、開催していきたいと思います。これからもよろしくお願ひいたします。

福山六方学園 枝廣正寛

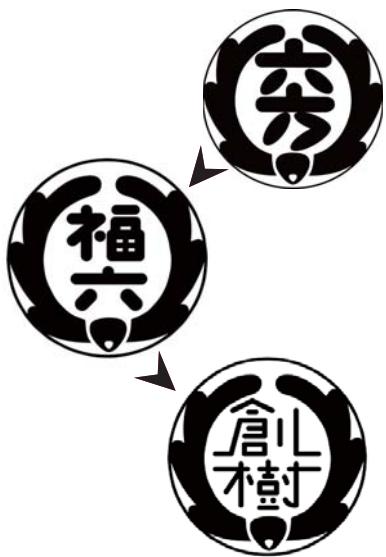


六十周年記念事業について

2019年7月20日

(3) 第71号

ロゴマークの変遷



今までにつくられた膨大な表現全体の中からその「ぐ」一部をお伝えいたします。福山六方学園を開設した当時の運営母体は、社会福祉法人六方学園で、ロゴマークも同じものを使っていました。その後、福山に根を下した活動会を開きたいとの思いから、「社会福祉法人創樹会」を設立し、福山関係の運営は「創樹会」が担うことになりました。しかし、創樹会の名前はなかなか浸透せず、慣れ親しんだ福山六方学園の名前で、ロゴマークの中の文字を「福六」に変えた時代がありました。最近は、むしろ創樹会の方がなんできています。この六〇周年を機に、ロゴマークの文字も「創樹」に変えて、社会福祉法人創樹会としての更なる一步を踏みだしたいと決意しています。

福山六方学園
佐藤秀信

式典まで二ヶ月をきました。出席依頼者への案内を発送し、返事待ちの状況です。当日の細かい内容について決めていくためには、「これから忙しくなること」と思いますが、皆さんに「出席して良かった」と言つてもらえるように記念行事にしたいと話しありました。

●**関連行事**

***利用者・家族と共に祝う会**
九月一日：通所施設グループホーム関係
九月二十九日：入所施設関係
会場は、共に「みやび」にて

***福六アート『蔵出し展』**
八月十日から九月八日まで
鞆の津ミュージアムにて

鞆の津ミュージアム Postcard Drawings from London+Berlin



▲写真：展覧会のオープニングで〈パン人間〉になる折元さん

新年度はじめの企画展として、美術家・折元立身さんの新作を初公開する『Postcard Drawings from London+Berlin』を4月20日～6月2日にかけて開催しました。この展覧会では、折元さんが23年間介護を受けたのち2年前に亡くなったご自身の母親に宛てて綴られ、投函された絵はがきをご紹介。そこには、ロンドンとベルリンで折元さんが出会った謎の哲学者風の老人であるとか、汚い犬であるとか場末の喧嘩といった、どこにでもある社会の断片的な光景が描かれています。そのように、生きていることの困難さや、おかしさを見逃さずとらえる折元さんの愛情に満ちたまなざし。そうしたことを感じられるようになりますが、この企画の狙いのひとつでした。「俺の中ではお母さんは死んでないからね」と折元さんも言われる通り、折元さんの新作にこめられた態度からは、誰にでも等しく訪れる「死」と向き合う際に必要となる作法を学びとれるのではないでしょうか。

鞆の津ミュージアム 津口 在五

鞆の津ミュージアム Facebook <https://www.facebook.com/tomonotsumuseum>

●広島県共同募金会様より車両を寄贈いただきました

度NHK歳末たすけあい助成金」を受け、さわらびに「ホンダ N-BOX」がやってきました。新しい車両を寄贈いたいたおかげで、通所者の送迎・外出などで大活躍しています。ありがとうございました。
事務局 杉原 和浩



広島県東部地区 親善球技大会

5月26日に、備後運動公園で令和最初の親善球技大会に参加をしました。利用者の皆さん車中から親善球技大会を楽しみにされていましたが、それ以上に今年こそは勝つという意気込みをとても感じました。いざ試合が始まると皆さん、少し緊張した顔つきになりましたが時間が経つにつれて、笑顔が増え楽しそうに試合を行うことが出来ました！



東部地区親善球技大会に四名で出場しました。種目は卓球とグラウンドゴルフです。卓球は一回戦まで突破しましたが、三回戦のお相手がなんと過去優勝経験のある方で…。始めは調子よく得点を稼いでいたのですが、あつという間に気づけば一セット落とし本人もがっくり。

負けてしまい、悔しがっていましたが楽しかったよう何よりでした。グラウンドゴルフは三人一組で出場です。気合を入れて挑戦しましたが、なかなか練習を行うこともできなかつたこともあり良い結果は残すことができませんでした。周りの方は上手な方が多くあつけていました。しかし、近くまで寄つてお互に応援し合う姿はとても素晴らしい皆さん良い表情をされていました。協力しながら一生懸命頑張ることは素敵なことだと再確認させてくれました。また次の機会までは練習してみんなで喜びあつている姿が見られればうれしいなと思います。

福山六方学園 山野 奈都美

今年も、東部地区親善球技大会に利用者さん十三名、スタッフ六名で参加しました。例年に比べ暑い一日でしたが、みんなの闘志はそれを上回るほどに熱くみなぎっていました。

大勢の参加者の中、一試合目は男女五名で参加した円形ドッジでしたが、なんと!!久しぶりの勝利を挙げることができました。応援しているみんなも大盛り上がりです。惜しくも二戦目で敗退してしまいましたが、奇跡の一勝にフライングディスクに参加するメンバーも、後に続け!と湧き立ちました。フライングディスクでも一チームが勝利をあげ、一回戦は幸運にも不戦勝となり、三回戦まで勝ち進むことができました。初めての快進撃に、応援するみんなも大喜びでした。

お弁当を食べた後、帰りはクロスロードみつぎで大きなソフトクリーミーをたべりながら帰途につきました。暑さを吹き飛ばす、とても楽しい一日になりました！

あゆみ苑成人寮 山口 美穂

今年も友の家はソフトボールに参加をしました。当日は暑くなることが予想され準備をして行きましたが、幸いにも午前中は心地よい風が吹き、一試合目は職場で培った体力を存分に発揮し10-7と接戦をものにしました。

一試合目は2-20でスコアも体力も負けてしまいましたが、ここ一番の真剣な表情や最後まで楽しんでやり通す姿に感動しました。また来年もこの十人のメンバーで頑張りたいと思います。まあ明日も仕事です。がんばろー！

サポートセンター友の家
藤井 豊治

福山六方学園

あゆみ苑成人寮

サポートセンター友の家



Event

六月一日に沼隈特別支援学校の運動会がありました。今年も児童園スタッフとえがお舎の成人グループの皆さんで応援に行きました。学齢児の皆さんには、少し緊張とやる気満ち溢れた表情で本番を迎えていました。かけっこでは応援している観客に笑顔を振りまきながら嬉しそうに走つたり、ダンスで自作の衣装を着て踊つたり、とても可愛い姿に思わずこちらも笑顔になりました。学年の競技では、田頃の練習の成果を発揮して前転や一本橋に取り組み、学園では見ない様子に感心しました。今年度が最後の運動会となつた高橋さんは、恥ずかしがりやで人の前に立つことが苦手でした。しかし、運動会では副団長になり、大勢の前で応援合戦や演技を披露してくれました。今まで応援することを課題にして頑張つきました。高橋さんの成長した姿に感動しました。今年度も皆さんの頑張りや成長がたくさん見られた運動会でした。

福山六万学園 渡邊 華乃天

沿隈特別支援学校 運動会

sports day

男子棟

男子棟では、五月二十三日に昼食パーティーを行いました。お弁当やオードブル、サラダ、ピザ、うどんなどと一緒に買って、皆さんで分けて、利用者さんそれが食べました。普段とは違う食事と雰囲気を楽しんでいました。

また、男子棟の利用者さんの中に、五月生まれの利用者さんが八名いらっしゃいます。他の月を見ても「こんなに同じ月に誕生日の利用者さんがいる用がないので、かねてから「五月生まれの利用者さん達で食事会ができるらな」と考えていました。この度、同日の五月二十三日に鞆町にあるホテル鷗風亭へ、利用者さん八名、スタッフ四名の計十二名で昼食外出へ出かけました。

窓からは、かようじ鯛網の時期でもあって、鯛網の船が見えたりと、景色と美味しい料理に皆さん嬉しそうにされていました。

あゆみ苑成人寮 濱野 芳貴



あゆみ苑成人寮 岡田 早苗

女子棟

新年即「令和」がスタートしました。女子棟も新しい時代の始まりといふことで五月二十三日に「これからもよろしく会」と称して全員で祇王の甲羅へ出かけ、食事会を行いました。普段とは違う場所や料理、そして女子棟の仲間たち全員で出かけたという事が嬉しかったのか、皆さんとても明るい笑顔で「おいしい!」と言しながら召し上がられていきました。スタッフ一同もそんな皆さんのが喜び姿を見て令和の時代も一緒に楽しいと思える事をたくさん計画していくと思いました。利用者・スタッフ共に素敵な新年号「令和」のスタートが切れたのではないのでしょうか。これからも一緒に乐しくそして明るく元気に過ごしていきましょう。



あゆみ苑 食事会

luncheon party

JFEフェスティバル

五月十一日(日)にJFE西日本スチール製鉄所で行われるJFEフェスティバルに出店しました。晴天に恵まれた今年は約八万五千人が来場され、ステージや出店ブース巡りで人が溢れています。今年はさりげなくグッズはもちろん、利用者さんが描いたキャラクターデザインや鞆の津ミュージアムオリジナルグッズ、サポートセンター友の家でつくっているハチミツを販売しました。本会のブースにもたくさんの方に足を運んでいただき、嬉しくなった私たちもグッズの紹介にも一段と熱が入りついにハチミツは完売しました。これからも法人の「知つて欲しい」ことを紹介していくよう、参加していきたいと思います。

事務局 岡崎 勇輝



平成30年度 各事業所の主な事業報告

福山六方学園

- ・成人期の人たちの日中活動（生活）が、充実したものになるように取り組んだ。短期入所及び一時保護委託の利用希望が多く、一人でも多くの方に利用して頂けるように日程調整と環境整備を行った。

あゆみ苑成人寮

- ・利用されている皆さんの重度化や障がい特性の多様化に対応するため、支援技術等の実践研修を行い、職員の支援技術の向上に努めた。

サポートセンターひびきの家

- ・重度・高齢の利用者の健康生活を維持していくために、医療相談を行い支援を行なってきたが、退行現象等への対応に苦慮することもあり、より良い支援を模索している。

サポートセンター友の家
さわらび

- ・地域社会に生きる、消費力のある生活者として認知してもらえるよう支援を行い、生活圏の拡大・社会資源の活用を図った。
- ・昨年10月には厨房の稼働も開始し、障がいの重い利用者が多い中、ミキサー食、刻み食等にも細やかに対応できるようになった。これでハード面の整備もほぼ完了し、これからは現有の設備を有効活用しながら、ソフト面（サービスの中身、質）を再検討する。

さくら
ONE-すてっぷ

- ・高齢化や重度化が進む中、そして多様化する障がいのニーズに対応できる施設作りを目指し取り組んだ。
- ・スタッフ一同が協力して提供する療育の質や支援の内容の向上に努めてきた。保護者支援については、しっかりと寄り添った支援を心掛けたい。

ふあんたす

- ・平成30年1月から受け入れを開始し、ONE-すてっぷの療育部門から引き継いだ利用児に加え新規の児童を受け入れ、関係機関等と連携を図りながら、通ってくる子どもたちが心身ともに健やかに成長発達できるように個別での療育・学習支援、小集団での活動を中心に取り組んだ。

ヘルバーステーションあしじと
相談支援センター風ぐるま

- ・利用者の高齢化・重度化、さらに様々な社会問題等に伴う生活の困難さに直面する事があり、試行錯誤しながら支援に入った。
- ・平成30年度～平成31年度に見直しが行われる加算要件や標準モニタリング期間など大きな変更への対応を行いながら、細かな訪問支援に取り組みました。両親も高齢になり本人だけでなく世帯として関係者と支援を行なっていくことが増えてきています。

法人本部

- ・7月に大規模な水害が発生し、登園道西側の谷より土砂が流出し通行困難な状態となった。今後も同様以上の被害が想定されるため、地域関係者とのネットワークを基本に、災害時に備えた地域のコミュニティづくりに貢献する。

令和元年度 各事業所の主な事業計画

福山六方学園

- ・グループホーム建設による青年期の人たちの施設またはグループホームへの移行がスムーズに行えるように調整を行う。入所利用している保護者の方と話が出来る思いを伝えあえる場として、家庭訪問もしくは個別面談を実施する。

あゆみ苑成人寮

- ・平成20年に建築された現在の建物は10年を経過し、破損や不具合が出てきている。利用されている皆さんのが安心・安全で快適な生活ができるように改修・改善する。また、定員を超える利用者がある生活介護事業の定員を54人から60人に増員する。

サポートセンターひびきの家

- ・利用者の状況に応じ、医療と連携したきめ細かな支援や介護、日常生活や社会生活の自立、就労支援を行なっていく。新しいグループホームの建設を目指し、準備を進めていく。

サポートセンター友の家
さわらび

- ・地域において、障がいのある人が生き方や暮らし方を選択できる。居心地の良い生活の場づくりを促進する。
- ・ここ数年、利用者、ご家族の体調の変化に起因する課題がたくさん発生している現状から、相談事業所等、関係機関と連携し、微力ではあるが、利用者・ご家族の安心感に繋がるよう努力する。

さくら
ONE-すてっぷ

- ・作業工程の見直しや生産性を高め、安定した作業収入を得る事で、利用される皆さんの工賃向上に取り組む。
- ・児童発達支援すてっぷでは、福山市内の児童発達支援の状況を踏まえ、「すてっぷ」に求められる支援を的確に受け止めていく。放課後等デイサービスONE-すてっぷでは、グループ活動の充実を図り、支援の質を上げることで利用者の満足感、安心感につなげていく。

ふあんたす

- ・2年目となる今期はより充実した療育活動を提供できるように、保護者・学校等関係機関と密な連携を図りながら、課題やニーズの把握をし、それらに対応できるよう研修の機会を設けるなどスタッフの資質向上に取り組んでいく。

ヘルバーステーションあしじと
相談支援センター風ぐるま

- ・地域生活に伴う様々な問題に対応していくために、広く研鑽し、ご家族、関係機関等と連携しながら、支援方法を計画していく。
- ・増加している児童期の相談や計画作成にあたり、各種事業所や学校などの教育機関との連携、また、地域の支援ネットワーク作りのため包括支援センターとの連携もあわせて取り組んでいます。

法人本部

- ・来年度新たなグループホームを開設するにあたり、職員の確保と育成を行い、法人全体の利用者・家族が安心して生活できる体制を整える。
- ・社会福祉法人の使命である社会貢献に積極的に取り組む。
 - ①とつおきの芸術祭inふくやま事務局
 - ②水呑ボランティアの会との合同で子どもの遊び場づくり
 - ③福山育成会への理事派遣
 - ④「鞆の津ミュージアム」の市民交流の場としての活用・運営

以上の活動を通して、引き続き 「障がいのある人たちの人生を支える」 を旨とした 「嬉しいサービス」 提供事業体として法人関係者が一丸となって精進していく。

ありがとうございました (2019.4.1~2019.6.30)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。（敬称略・順不同）

*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

●ご寄贈 ・関係者2名 ・水呑西子ども会 ・水呑西自治会 ・愛生会浦上寮
 ・匿名3名

●ボランティア
 ・4月18日 餅つきボランティア（匿名2名）
 ・5月18日 演奏ボランティア（しろくま楽団4名）

※創樹祭ボランティア（計37名）
 ・水呑女性会（4名） ・水呑ボランティアの会（6名）
 ・中国学園大学（3名） ・福山平成大学（14名） ・福山市立大学（3名）
 ・福山医療専門学校（2名） ・福山福祉専門学校（2名） ・堀川倫弘
 ・田村一三 ・田村陽子

実習生・交流

●保育士	5月29日～10日間	ノートルダム清心女子大学	4名
	6月19日～10日間	比治山短期大学	3名
●社会福祉士	5月29日～18日間	九州保健福祉大学	1名
●事前学習	5月28日	岡山短期大学	2名

今後の予定

全体

8月11日…いのちの日
 救急救命講習・職員研修

福山六方学園

7月…ディキャンプ
8月…夏祭り
8月…親子行事
8月…秋祭り（収穫祭）
 ハロウィンパーティー

あゆみ苑

8月…夏祭り

サポートセンター友の家

8月…GH交流会・ふうりんの集い
 夏の食事会
9月…GH交流会・ふうりんの集い
 東部地区親善スポーツ大会
10月…GH交流会・研修旅行

ぶちええわ！

ゴールデンウィーク特集！



ふあんたすでは春休みの外出活動で千田町にある「冒險遊び場でんぐりがっぱ」へ行つてきました。自然の中にある手作りの遊具やツリーハウス、それを見た子供たちは大喜び！ターザンロープや竹で作られたコースの上を滑るソリすべり、ツリーハウスの上に登つて、工具を使つての自由製作など、みんな夢中になつて遊びました。

ふあんたす 小林倫子

ふあんたす



福山六方学園 連休外出

今年はかさおか古代の丘スポーツ公園にかけました。お弁当を食べて、遊具で遊んだり、おやつを食べたり、シートに寝転んで涼んだり。気持ちいい天気の元で、転がり、リフレッシュでき楽しかったです。スズが出て乃天です。

福山六方学園
渡邊華

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)

あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)

サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)

サポートセンター友の家(共同生活援助事業)

さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)

ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)

ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児等療育支援事業)

ふあんたす(放課後等デイサービス)

相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

登園道の紫陽花が、すっぽりと雨に濡れながら咲き誇っています。これから向かう夏、ご利用者共々、食中毒、熱中症等々に留意して乗り越えていく決意への「はなむけ(エール)」を感じております。

(編集スタッフ一同)